

## 田北祭

11月3日(水)に田北祭が行われ

た。今年は各クラスが自分たちで考  
え調理したZAC弁当を販売。前日より、  
仕込みやチラシを配り取り組んだ。

当日はチラシの効果もあつてか、  
行列ができ、あつという間に全ての  
クラスの弁当が完売。他にも無農薬  
野菜の詰め合わせ、ピーマンや荻町  
のトマト、柚子や柿の販売、お餅の  
配布も行った。学生会が中心となり  
企画運営し、学生の学びの場となつ  
た。



田北祭当日の様子



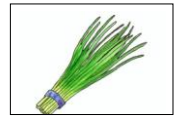
チラシ配りの様子



## おおいたマルシェ

11月6日(土)に大分市産農林

水産物の地産地消推進を目的とし  
たおおいたマルシェが開催され、  
本校は大分市産のニラをたっぷり  
使った「チキンニラカレー」で出  
店した。大きな骨付きのチキンが  
入ったボリューム満点のカレーで  
お昼時には行列ができるほど。リ  
ピーターもいるくらいの大人気で  
早くに売り切れた。お客様からた  
くさんの「美味しい」を聞くこと  
ができた嬉しいイベントだった。



## イベントが盛りだくさん

### 明野アクロスイベント

11月20日、21日にトキハイ

ンダストリーあけのアクロスタウン  
で冠地鶏を使った弁当を販売した。  
立松洋子特任教授の指導のもと  
学生たちが冠地鶏を使ったレシピ  
を考案。その中から12のレシピを  
選び、6品ずつ詰めた弁当2種類  
が完成した。1日100食限定で販売  
したが、販売当日から大盛況、2  
日目は開店前より行列ができるほ  
ど。2日間ともあつという間に完  
売。学生たちは朝早くから弁当作  
りに励み、販売時には大きな声で  
呼びこみしてお客様との交流や他  
のお店の方との関わりを持つこと  
ができた。



## 色を蓄える

校長コラム

寒中にて、公園の桜の木を見つ  
めながら、染色家志村ふくみさん  
のことを思い出した。

桜染めというのは、花びらを使  
って出すものではなく、桜の木の  
あのごつごつした樹の皮を使うの  
だそう。しかも、この色は一年  
中どの季節でもとれるわけではな  
く、桜の花が咲く直前の三月頃の  
ものがいいらしい。

桜の花の色を花びらだけではな  
く、木全体に蓄えている、木全体  
が桜の色をしているとのこと。花  
びらの色は幹の色、樹皮の色、樹  
液の色。木全体に蓄えたあの淡い  
桜色を、花に注ぎこんでいる。

一週間ほどしか、あのきれいな  
花を見ることができないが、その  
一週間のために、一年をかけコッ  
コツと桜の色を貯めてきている。  
じつと耐えて、春を待ち続け、  
一年間蓄えたものを一気に出すと  
きだと感じたときに花を咲かすの  
だろう。

このことは、学生たちにもあて  
はまることだと思う。一年、二年  
をかけて自分の色を蓄え、そして、  
一人ひとりがそれぞれの色できれ  
いな花をさかせたい。

